

貸借対照表

2023年 5月 31日

(当期会計期間末)

株式会社 エムワン

印刷日付: 2023年 7月 19日

(単位: 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 229,605,326】	【流動負債】	【 196,067,031】
現金・預金	81,628,374	買掛金	138,171,275
調剤報酬売掛金	91,938,514	未払費用	1,343,745
自賠・労災 売掛金	350,470	関係会社未払金	24,373,611
その他 売掛金	1,218,057	未払法人税等	32,178,400
貸倒引当金	△935,000	負債の部合計	196,067,031
前払費用	1,551,130		
仮払金	17,200		
商品	53,836,581		
【固定資産】	【 54,141,133】		
(有形固定資産)	(43,555,518)		
建物	34,312,305	【株主資本】	【 87,679,428】
建物附属設備	4,895,819	【資本金】	【 20,000,000】
構築物	816,921	【剰余金】	【 67,679,428】
什器備品	3,530,473	(その他利益剰余金)	(67,679,428)
(無形固定資産)	(5,816,975)	繰越利益剰余金	67,679,428
電話加入権	150,000		
ソフトウェア	5,666,975		
(投資その他の資産)	(4,768,640)		
差入保証金	4,720,000		
預託金	48,640		
資産の部合計	283,746,459	純資産の部合計	87,679,428
		負債・純資産の部合計	283,746,459

個別注記表

自2022年6月1日 至2023年5月31日

株式会社エムワン

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 子会社株式及び関連会社株式・・・移動平均法による原価法
- ② その他有価証券・・・・・・・・・・移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 商品・・・・・・・・・・移動平均法による原価法
- ② 貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産・・・・・・・・定率法。ただし、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法
- ② 無形固定資産・・・・・・・・定額法
- ③ 三年一括償却資産・・・三年間の均等償却
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産
・・・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率（法人税法の法定繰入率が貸倒実績率を超える場合には法定繰入率）により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要事項

① 繰延資産の処理方法

- (イ) 入会金・・・・・・・・定額法。なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております
- (ロ) 開発費・・・・・・・・支出日以後五年間の均等償却
- (ハ) 社債発行費・・・社債償還期間にわたり均等償却

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 75,694千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末日における発行済株式の種類と総数

普通株式 400株

(2) 当事業年度末日における自己株式の種類と総数

普通株式 0株

4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 219,198円57銭

(2) 1株当たりの当期利益金額 149,410円09銭